



2017年2月期 業績説明

2017年2月期 連結決算概要

科目	3Q累計		4Qのみ		通期		
	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差	予算比 予算差
グループ売上*	79,093億円	98.6% ▲1,157億円	27,121億円	101.3% +342億円	106,215億円	99.2% ▲815億円	101.2% +1,215億円
営業収益	42,889億円	95.0% ▲2,249億円	15,467億円	101.0% +149億円	58,356億円	96.5% ▲2,100億円	101.1% +656億円
営業利益	2,740億円	105.0% +129億円	905億円	99.2% ▲7億円	3,645億円	103.5% +122億円	103.3% +115億円
経常利益	2,764億円	106.6% +169億円	880億円	97.0% ▲27億円	3,644億円	104.1% +142億円	103.8% +134億円
税前利益	1,721億円	73.9% ▲608億円	454億円	64.2% ▲253億円	2,175億円	71.6% ▲862億円	- -
親会社株主に帰属 する四半期純利益	755億円	60.2% ▲499億円	212億円	59.8% ▲142億円	967億円	60.1% ▲641億円	120.9% +167億円

* グループ売上：セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.における加盟店売上を含めた数値

2017年2月期 セグメント別営業収益①

科目	3Q累計		4Qのみ		通期		
	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差	予算比 予算差
連結営業収益	42,889億円	95.0% ▲2,249億円	15,467億円	101.0% +149億円	58,356億円	96.5% ▲2,100億円	101.1% +656億円
コンビニエンス ストア	18,914億円	92.7% ▲1,493億円	6,592億円	103.8% +240億円	25,506億円	95.3% ▲1,252億円	103.7% +906億円
スーパー ストア	15,019億円	98.5% ▲228億円	5,236億円	97.7% ▲121億円	20,255億円	98.3% ▲349億円	97.9% ▲444億円
百貨店	6,107億円	96.6% ▲216億円	2,414億円	95.7% ▲109億円	8,521億円	96.3% ▲325億円	101.1% +91億円
フード サービス	621億円	98.6% ▲9億円	203億円	98.2% ▲3億円	825億円	98.5% ▲12億円	100.0% ▲0億円

2017年2月期 セグメント別営業収益②

科目	3Q累計		4Qのみ		通期		
	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差	予算比 予算差
連結営業収益	42,889億円	95.0% ▲2,249億円	15,467億円	101.0% +149億円	58,356億円	96.5% ▲2,100億円	101.0% +656億円
金融関連	1,489億円	103.4% +48億円	529億円	109.5% +46億円	2,019億円	104.9% +94億円	99.5% ▲10億円
通信販売	871億円	75.1% ▲288億円	520億円	122.0% +93億円	1,392億円	87.7% ▲195億円	107.9% +102億円
その他	422億円	92.0% ▲36億円	151億円	97.0% ▲4億円	574億円	93.2% ▲41億円	100.7% +4億円
消去および 当社	▲557億円	- ▲25億円	▲180億円	- +7億円	▲738億円	- ▲17億円	- +7億円

2017年2月期 セグメント別営業利益①

科目	3Q累計		4Qのみ		通期		
	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差	予算比 予算差
連結営業利益	2,740億円	105.0% +129億円	905億円	99.2% ▲7億円	3,645億円	103.5% +122億円	103.3% +115億円
コンビニエンス ストア	2,419億円	102.7% +62億円	712億円	104.1% +28億円	3,131億円	103.0% +90億円	101.4% +41億円
スーパー ストア	123億円	- +119億円	105億円	155.0% +37億円	229億円	316.6% +156億円	199.2% +114億円
百貨店	▲35億円	- ▲2億円	72億円	101.6% +1億円	36億円	95.8% ▲1億円	91.8% ▲3億円
フード サービス	2億円	31.8% ▲5億円	2億円	226.1% +1億円	5億円	56.2% ▲4億円	171.7% +2億円

2017年2月期 セグメント別営業利益②

科目	3Q累計		4Qのみ		通期		
	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差	予算比 予算差
連結営業利益	2,740億円	105.0% +129億円	905億円	99.2% ▲7億円	3,645億円	103.5% +122億円	103.3% +115億円
金融関連	389億円	103.4% +12億円	111億円	92.9% ▲8億円	501億円	100.9% +4億円	96.4% ▲18億円
通信販売	▲77億円	- ▲4億円	▲73億円	- ▲62億円	▲150億円	- ▲66億円	- ▲45億円
その他	31億円	83.1% ▲6億円	14億円	83.8% ▲2億円	46億円	83.3% ▲9億円	92.6% ▲3億円
消去および 当社	▲114億円	- ▲46億円	▲39億円	- ▲1億円	▲153億円	- ▲48億円	- +29億円

2017年2月期 主要事業会社の営業利益

科目	3Q累計		4Qのみ		通期		
	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差	予算比 予算差
セブン-イレブン ・ジャパン	1,871億円	103.9% +70億円	563億円	102.5% +13億円	2,434億円	103.6% +84億円	100.6% +14億円
7-Eleven, Inc. (ドルベース)	594億円 (54,721万ドル)	96.6% (107.6%) ▲21億円 (+3,875万ドル)	172億円 (15,762万ドル)	108.1% (120.0%) +12億円 (+2,628万ドル)	766億円 (70,483万ドル)	99.0% (110.2%) ▲8億円 (+6,504万ドル)	102.8% (100.2%) +20億円 (+105万ドル)
イトーヨーカ堂	▲43億円	- +100億円	44億円	- +39億円	0.5億円	- +140億円	- +110億円
ヨークベニマル (ライフフーズ*込み)	133億円	110.8% +13億円	53億円	94.8% ▲2億円	187億円	105.7% +10億円	100.9% +1億円
そごう・西武	▲17億円	- ▲19億円	61億円	84.3% ▲11億円	43億円	58.6% ▲30億円	86.8% ▲6億円

* ライフフーズ(LF)・・・主にヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売しているヨークベニマルの子会社
ライフフーズ込みの営業利益は管理上の数値

特別損失の概要

累計	金額	前期増減	主な内訳
特別損失合計	1,512億円	+987億円	事業構造改革費用・のれん償却の計上減損損失の拡大等により増加
事業構造改革費用	256億円	+149億円	SS(172億円)・IY(40億円) 減損損失106億円含む
減損損失	491億円	+264億円	店舗に係る減損損失の計上 IY(186億円)・SS(137億円) ニッセンに係る事業撤退に伴う在庫処分等
のれん償却額	393億円	+374億円	百貨店事業に加え、その他事業でのれん減損を実施
固定資産廃棄損	183億円	+68億円	SEJにおける第7次システムの導入に伴う増加等
ご参考			
4Qのみ特別損失	442億円	+204億円	IY・SS等における閉店費用及び店舗減損の実施による



2 0 1 8 年 2 月 期 計 画

事業セグメントの変更

変更の理由

中期経営計画の推進に向け、マネージメントアプローチによる管理をより強化

事業セグメント変更の概要

従 来

「コンビニエンスストア事業」「スーパーストア事業」「百貨店事業」
「フードサービス事業」「金融関連事業」「通信販売事業」「その他の事業」

変 更 後

「国内コンビニエンスストア事業」「海外コンビニエンスストア事業」
「スーパーストア事業」「百貨店事業」「金融関連事業」「専門店事業」
「その他の事業」

新事業セグメント

「コンビニエンスストア事業」を成長の柱と位置づけ、環境与件の異なる国内と海外にわけて管理

「フードサービス事業」「通信販売事業」に代えて「専門店事業」を設け、各事業セグメントに分かれていた専門店を集約

2018年2月期 連結業績予想

科目	上期		下期		通期	
	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差	金額	前期比 前期差
グループ売上*	55,300億円	104.7% +2,495億円	56,200億円	105.2% +2,789億円	111,500億円	105.0% +5,284億円
営業収益	29,890億円	104.3% +1,228億円	31,110億円	104.8% +1,414億円	61,000億円	104.5% +2,643億円
営業利益	1,908億円	105.1% +93億円	1,957億円	106.9% +125億円	3,865億円	106.0% +219億円
経常利益	1,881億円	103.0% +54億円	1,969億円	108.3% +151億円	3,850億円	105.7% +205億円
親会社株主に帰属 する四半期純利益	958億円	286.1% +623億円	812億円	128.3% +179億円	1,770億円	182.9% +802億円

* グループ売上:セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.における加盟店売上を含めた数値

2018年2月期 事業セグメント別営業収益計画

	金額	前期比	前期増減
連結営業収益	61,000億円	104.5%	+2,643億円
国内コンビニエンスストア	9,350億円	103.7%	+336億円
海外コンビニエンスストア	19,780億円	119.3%	+3,194億円
スーパーストア	19,200億円	98.5%	▲293億円
百貨店	6,740億円	92.4%	▲556億円
金融関連	2,070億円	102.5%	+50億円
専門店	4,220億円	93.7%	▲284億円
その他	308億円	129.1%	+69億円
消去および当社	▲668億円	-	+125億円

2018年2月期 事業セグメント別営業利益計画

	金額	前期比	前期増減
連結営業利益	3,865億円	106.0%	+219億円
国内コンビニエンスストア	2,450億円	100.5%	+11億円
海外コンビニエンスストア	770億円	114.2%	+95億円
スーパーストア	252億円	124.6%	+49億円
百貨店	52億円	181.4%	+23億円
金融関連	515億円	102.7%	+13億円
専門店	▲17億円	-	+95億円
その他	36億円	89.9%	▲4億円
消去および当社	▲193億円	-	▲66億円

2018年2月期 主要事業会社の営業利益計画

	金額	前期比	前期増減	既存店伸び率
セブン-イレブン・ジャパン	2,440億円	100.2%	+5億円	+1.5%
7-Eleven, Inc. (ドルベース)	890億円 (80,909万ドル)	116.1% (114.8%)	+123億円 (+10,425万ドル)	+3.1%
イトーヨーカ堂	40億円	-	+39億円	±0.0%
ヨークベニマル (ライフフーズ ^{*1} 込み)	196億円	104.5%	+8億円	+1.2% ^{*2}
そごう・西武	50億円	115.2%	+6億円	▲0.5%

*1 ライフフーズ(LF)・・・主にヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売しているヨークベニマルの子会社
ライフフーズ込みの営業利益は管理上の数値

*2 既存店伸び率はヨークベニマル単体の数値

2018年2月期 事業セグメント設備投資計画

	金額	前期比	前期増減
連結設備投資	8,070億円	210.1%	+4,228億円
国内コンビニエンスストア	1,832億円	145.4%	+572億円
海外コンビニエンスストア	5,100億円	346.4%	+3,627億円
スーパーストア	411億円	82.1%	▲89億円
百貨店	133億円	109.5%	+11億円
金融関連	377億円	144.6%	+116億円
専門店	100億円	111.4%	+10億円
その他	17億円	52.1%	▲15億円
消去および当社	100億円	96.4%	▲3億円

2018年2月期 主要事業会社の設備投資計画

	金額	前期比	前期増減
セブン-イレブン・ジャパン	1,800億円	143.9%	+549億円
7-Eleven, Inc. (ドルベース)	5,100億円 (463,636万ドル)	235.3% (232.7%)	+2,932億円 (+264,357万ドル)
イトーヨーカ堂	193億円	63.0%	▲113億円
ヨークベニマル	150億円	121.7%	+26億円
そごう・西武	130億円	110.4%	+12億円



補 足 資 料

コンビニエンスストア事業：実績①

セブン-イレブン・ジャパン



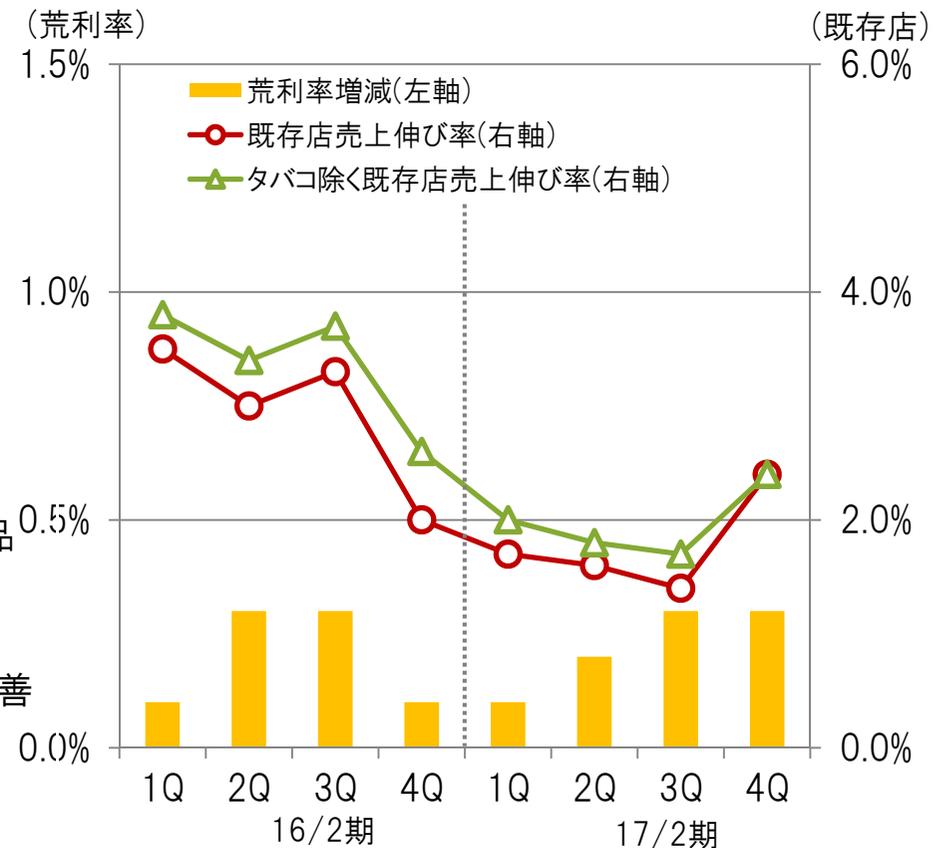
主に既存店売上と荒利率の改善により、6期連続で過去最高益を達成

	実績	前期比
営業利益	2,434億円	103.6% +84億円
既存店売上伸び率	+1.8%	
商品荒利率	31.8%	+0.2%

概況

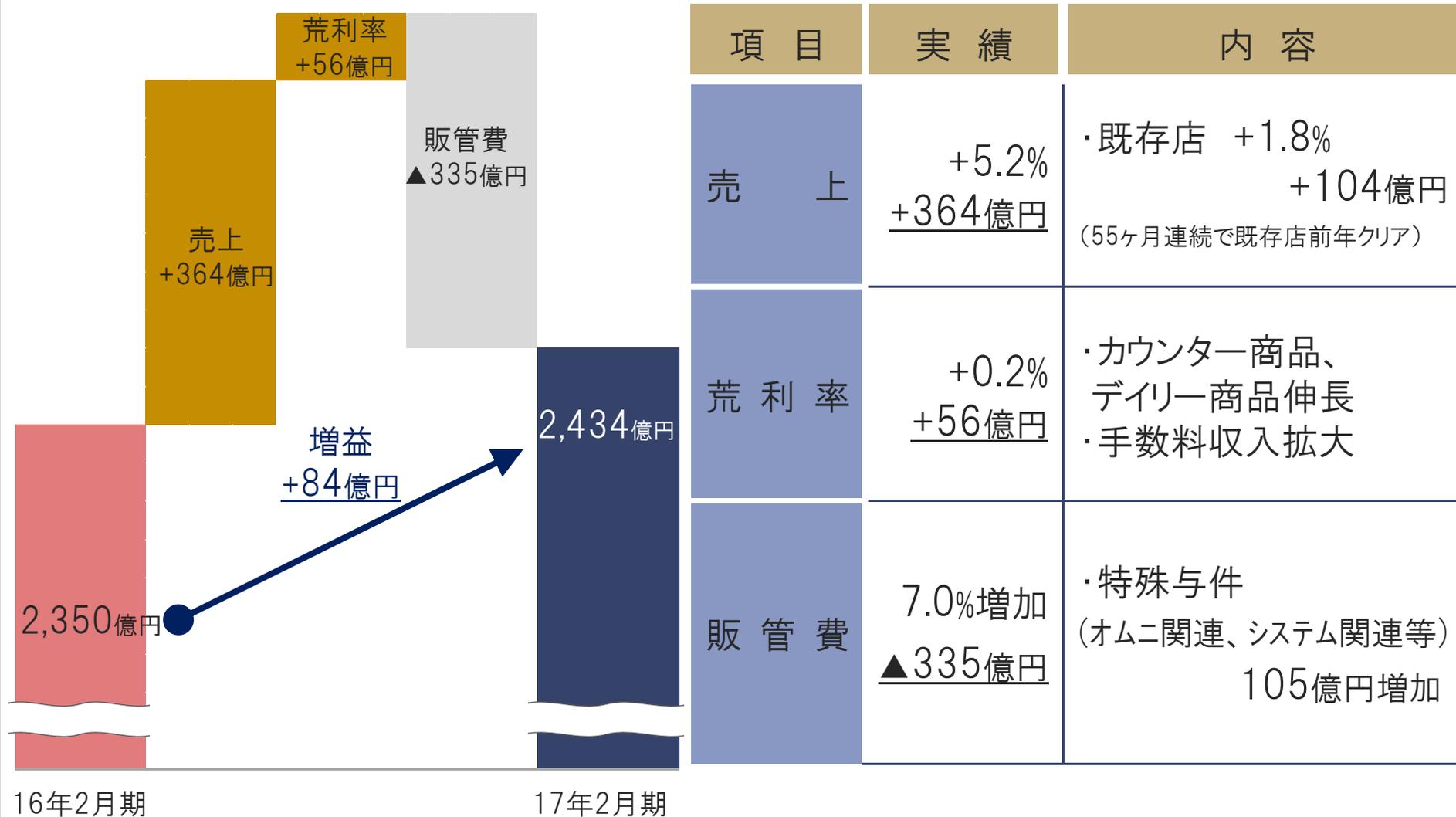
- ・既存店売上 : デイリー商品の品質向上やカウンター商品の伸長が牽引
- ・荒利率 : 調理パンや麺類等、基本カテゴリーのリニューアル効果による販売伸長等で改善
- ・営業利益 : 既存店売上の伸長と荒利率改善に加え、販管費の伸びを圧縮し、過去最高益を達成

■ 四半期別の推移



SEJ(2017年2月期営業利益前年増減要因分析)

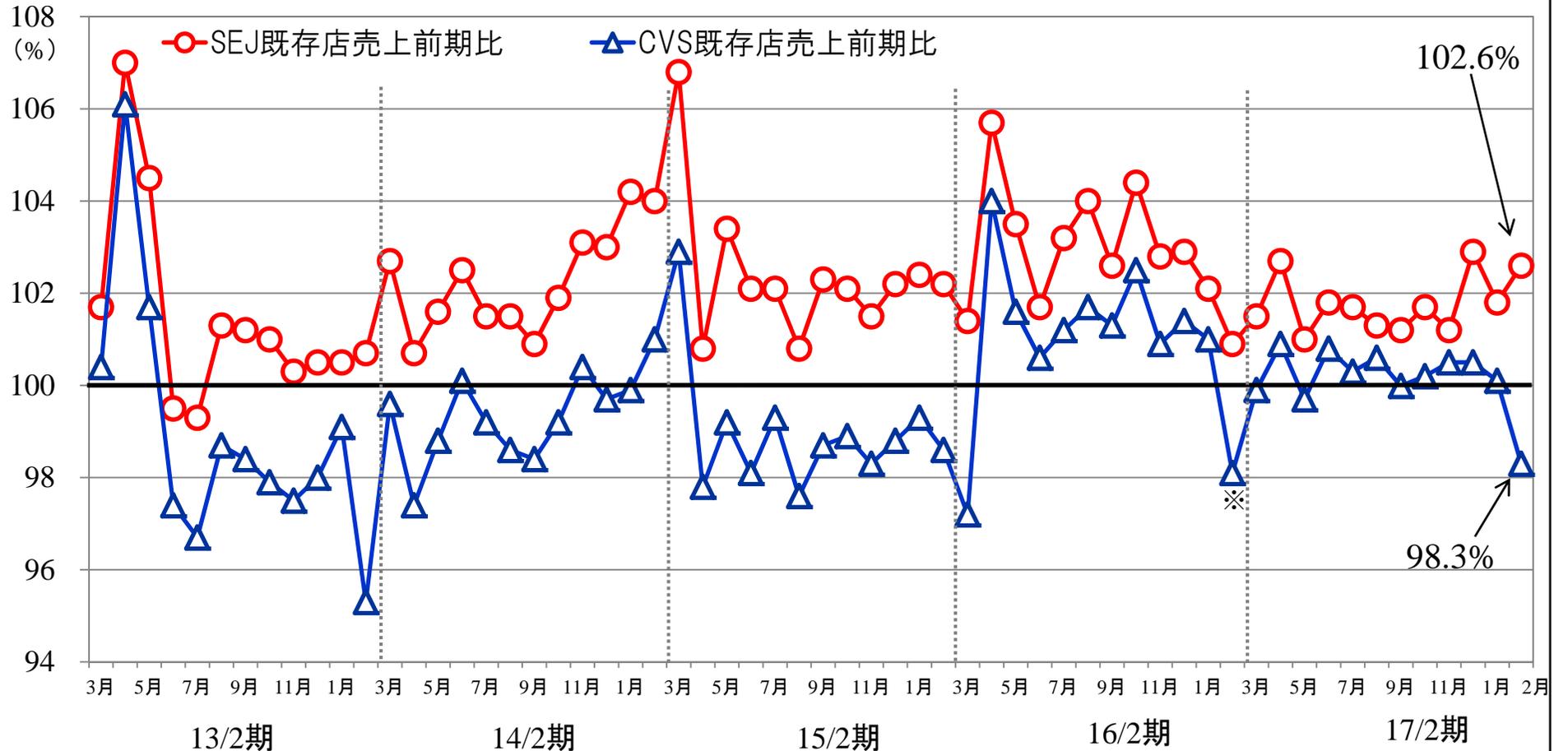
◆営業利益増減



SEJ：既存店売上前期比の推移

●オリジナル商品の強化等により、55ヶ月連続で前年を上回って推移

■SEJ既存店売上前期比とCVS既存店売上前期比の推移（日本フランチャイズチェーン協会）

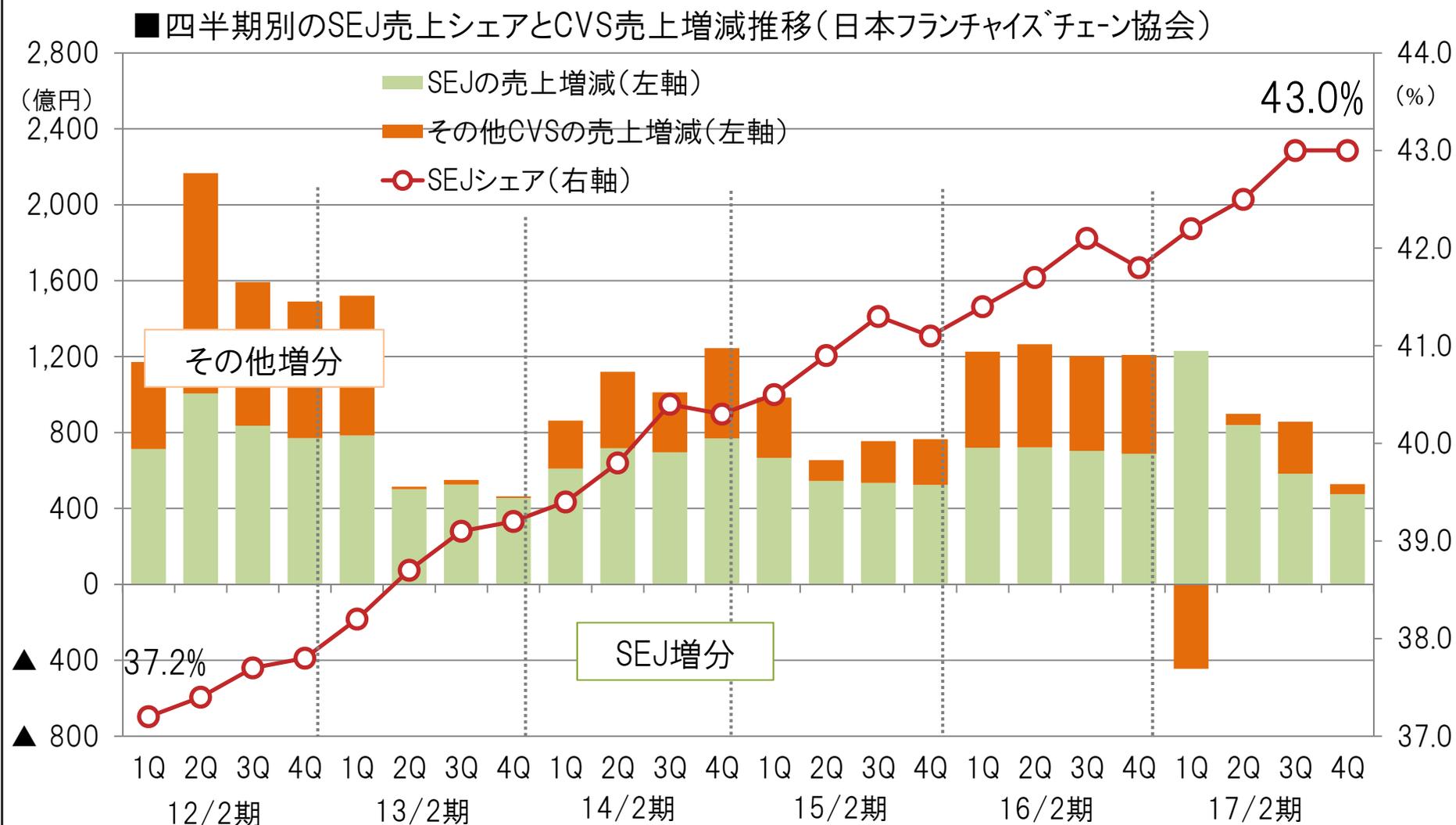


※ CVS既存店前期比の16年2月の数値は、閏年影響を含む総売上での前期比(101.6%)から日販ベースに換算した数値を表示

(出典)JFAコンビニエンスストア統計調査月報

SEJ: 四半期別売上シェアと売上増減の推移

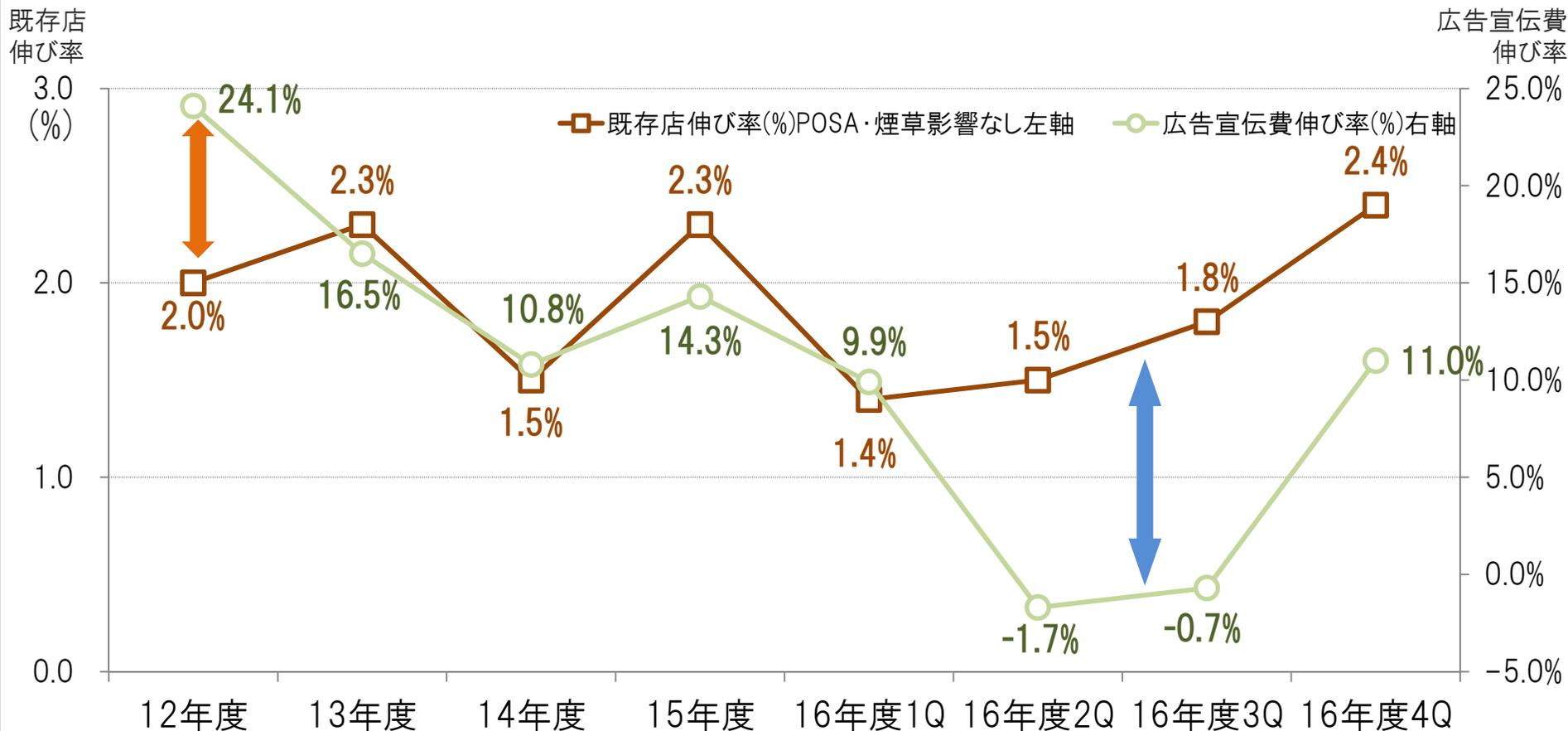
● 既存店売上の伸長により、売上シェアは過去最高の43.0%に拡大



(出典)JFAコンビニエンスストア統計調査月報

SEJ(販売促進の見直しと売上影響)

◆既存店伸び率と広告宣伝費伸び率推移



広告宣伝費を効果的に活用する事で、コストは削減しても既存店売上は伸長

※16年度4Qに実施したクリスマス関連販促や品揃え強化策を除くと4Qのみでは+3.2%

コンビニエンスストア事業：実績②

7-Eleven, Inc.



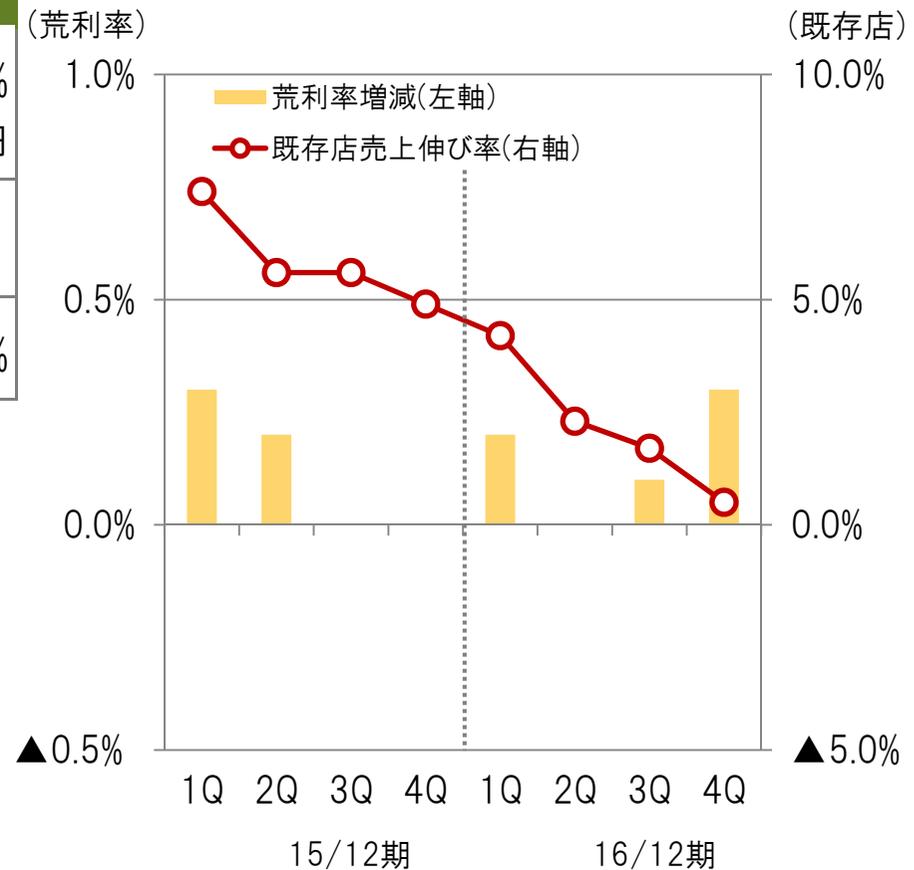
フレッシュフードの販売は好調も、為替影響や天候与件により減益

	実績	前期比
営業利益	766億円	99.0% ▲8億円
米国内既存店商品売上 伸び率(ドルベース)	+2.1%	
商品荒利率	34.8%	+0.2%

概況

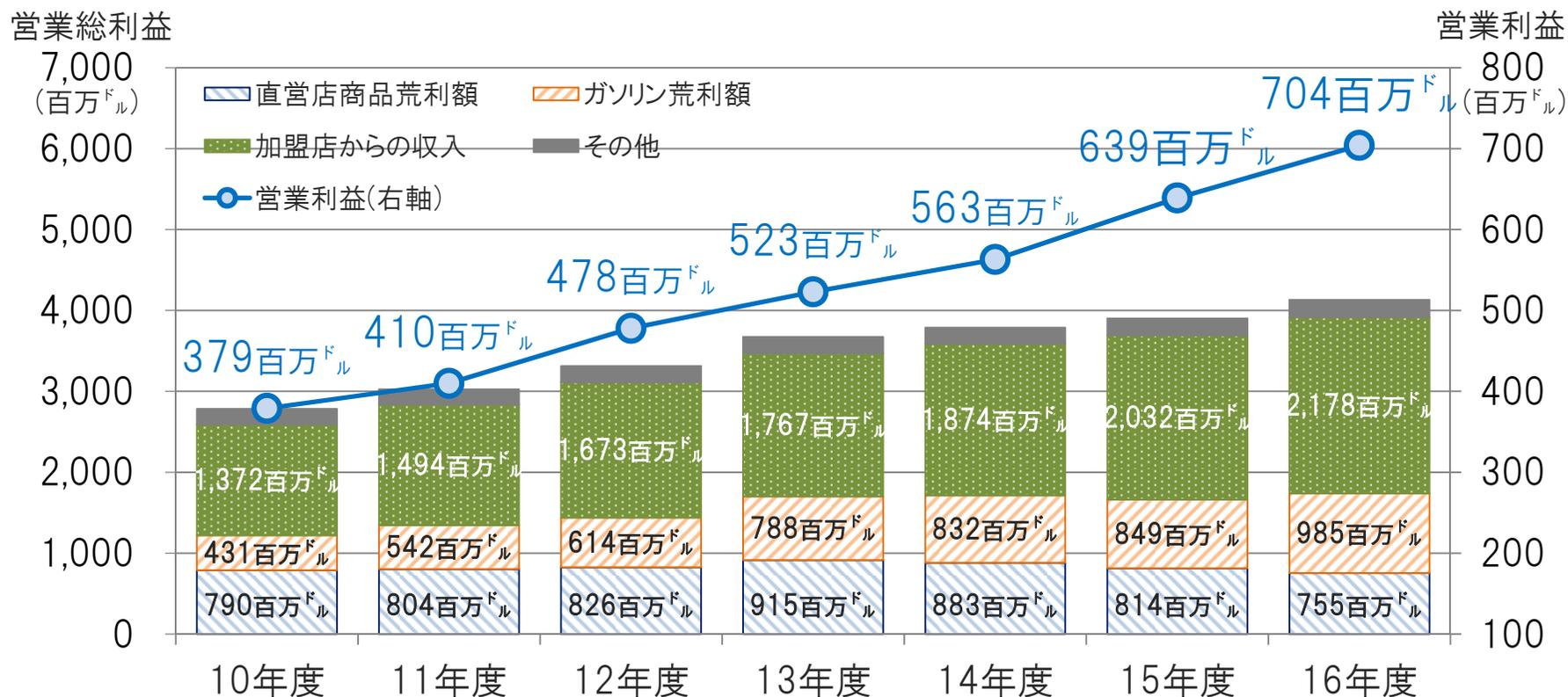
- ・既存店売上 : ホットフードを中心としたフレッシュフードの売上が牽引し伸長
- ・荒利率 : ホット飲料やソフトドリンク等の販売伸長等による改善
- ・営業利益 : 円高によるマイナス影響があり、減益(為替影響: ▲86億円)

■ 四半期別の推移



SEI（フランチャイズ化による収益性の向上）

◆ 営業総利益*(積上げグラフ)と営業利益(折線グラフ)の推移



直営店舗数	1,546店	1,712店	2,248店	2,073店	1,907店	1,748店	1,699店
FC店舗数	5,064店	5,437店	5,870店	6,219店	6,390店	6,752店	7,008店
FC店比率	76.6%	76.0%	72.3%	75.0%	77.0%	79.4%	80.5%

*営業総利益：直営店商品荒利額、ガソリン荒利額、その他営業収入(加盟店からの収入含む)の合計

スーパーストア事業：実績①

イトーヨーカ堂



既存店売上マイナスも、販売促進の適正化や荒利率の改善により増益

	実績	前期比
営業利益	0.5億円	+140億円
既存店売上伸び率	▲4.2%(▲3.4%*)	
商品荒利率	29.1%	+0.5%

概況

- ・既存店売上 : 宣伝装飾費や値引き等の販売促進策を見直したことで、客数に影響しマイナス
- ・荒利率 : 食品における生鮮食品等の改善と値下げロス抑制によりプラス
- ・営業利益 : 宣伝装飾費の抑制(▲141億円)や荒利率の改善等により、既存店売上マイナスを補い、増益

*SC合計の既存店売上伸び率



スーパーストア事業： 実績②

ヨークベニマル



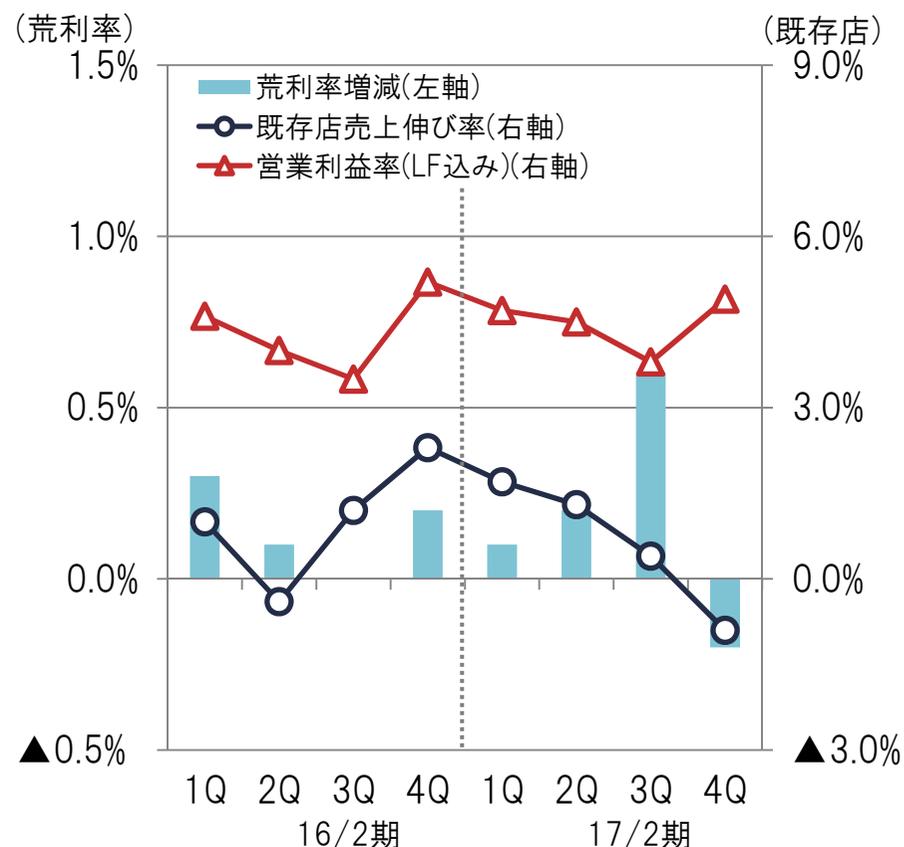
既存店売上と荒利率がともにプラス、店舗数増等に伴う経費増加を吸収し増益

	実績	前期比
営業利益	140億円	105.5% +7億円
既存店売上伸び率	+0.5 %	
商品荒利率	25.8%	+0.1%
営業利益 (ライフフーズ込み)*	187億円	105.7% +10億円

概況

- ・既存店売上 : 好調な食品が引き続き全体を牽引し、前年プラス
- ・荒利率 : 主に食品の改善により前年プラス
- ・営業利益 : 既存店売上と荒利率の改善により増益

■ 四半期別の推移



*ライフフーズ(LF)・・・主にヨークベニマル(YB)の店舗において惣菜を製造・販売しているヨークベニマルの子会社

(注)YB+LFの営業利益は管理上の数値です。

百貨店事業：実績

そごう・西武



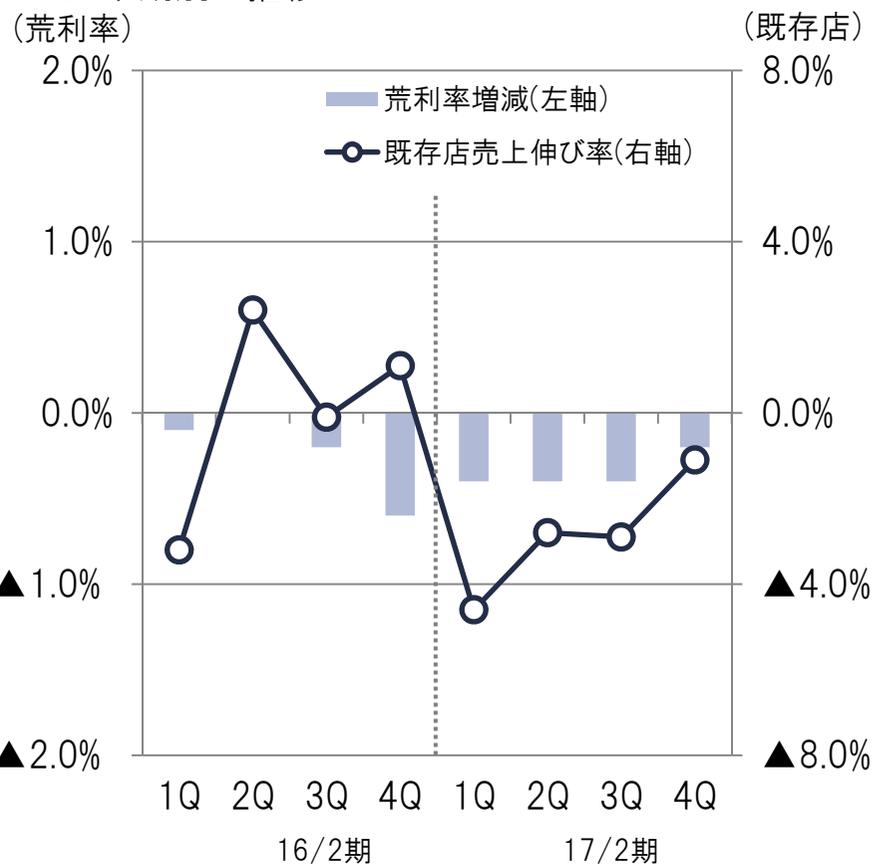
主に衣料品売上の苦戦と荒利率の悪化により減益

	実績	前期比
営業利益	43億円	58.6% ▲30億円
既存店売上伸び率	▲2.7%	
商品荒利率	23.9%	▲0.4%

概況

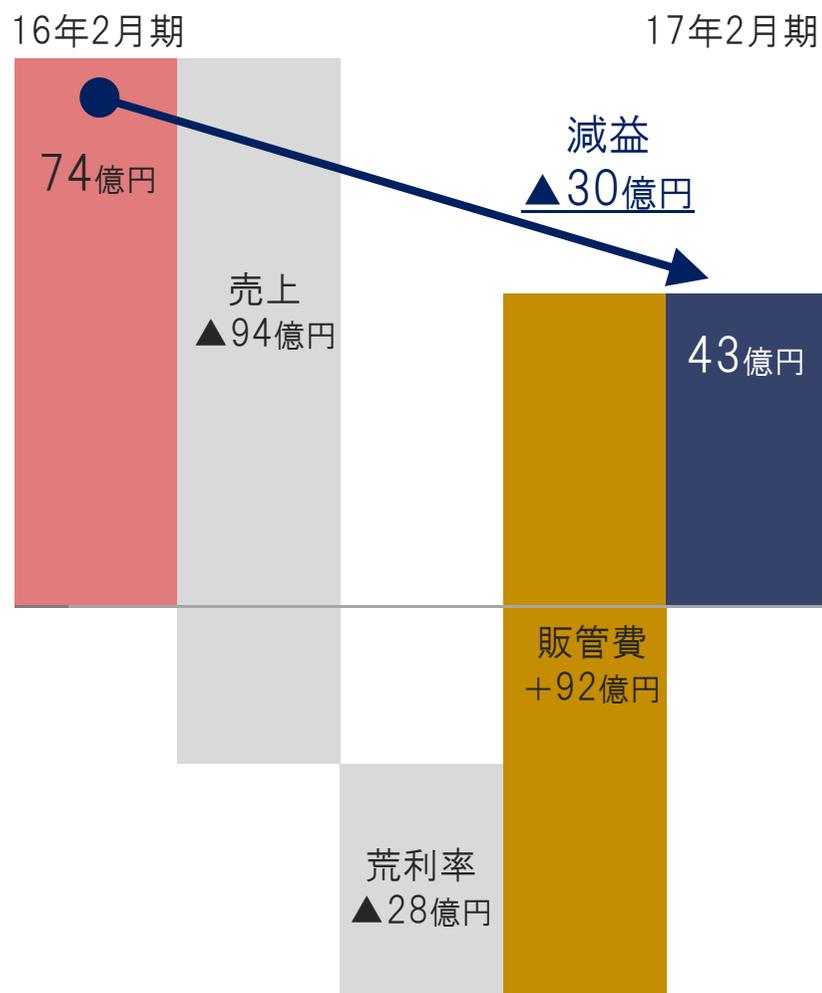
- ・既存店売上：婦人服などの衣料品を中心に弱含んだ結果、マイナス
- ・荒利率：主に、売上構成比および荒利率が高い衣料品の売上減少と4Qの在庫処分によりマイナス
- ・営業利益：販管費は削減したものの、衣料品を中心とした売上の減少と荒利率の悪化等により減益

■ 四半期別の推移



SS(2017年2月期営業利益前年増減要因分析)

◆営業利益増減



項目	実績	内容
売上	▲5.4% ▲94億円	・既存店 ▲2.7% ・婦人服中心に衣料品 売上の低下
荒利率	▲0.4% ▲28億円	・衣料品売上低下 ・食品売上構成比増
販管費	5.4%削減 +92億円	・宣伝装飾費 15億円削減 ・人件費 22億円削減 ・水道光熱費 17億円削減

当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する事項が含まれる場合があります。この事項については、開示時点において当社が入手している情報による経営陣の判断に基づくほか、将来の予測を行うために一定の前提を用いており、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。

したがって、現実の業績の数値、結果等は、今後の事業運営や経済情勢の変化等の様々な要因により、開示情報に含まれる将来の見通しとは異なる可能性があります。